第 30 回 支部総会資料

2022 年 5 月 16 日（月）

公益社団法人 日本コンクリート工学会

近　畿　支　部

目 次

1. 2021 年度 事業報告および収支決算について …… 2

2. 2022 年度 事業計画および収支予算について …… 10

3. 支部執行部の体制について …… 13

4. 2021 年度表彰について …… 15

5. 支部会員数の推移について …… 16

6. 本部からの報告について …… 17

1.　2021 年度 事業報告および収支決算について

事　業　報　告

（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の感染および拡大防止から支部会員を対象に計画していた支部総会、特別講演はオンラインで開催したほか、親子を対象としたオンライン企画を開催した。また、支部執行委員会、総務委員会、広報行事委員会、調査研究委員会はいずれもオンラインによって委員会を開催し、このような状況下での新たな生活様式に合致した支部の事業の進め方等に関して議論を行ってきた。

(1) 執行委員会

1) 第 1 回

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：45 名

主な内容：2020 年度収支決算、内部監査報告、支部総会資料 他

2) 第 2 回

開 催 日：2021 年 9 月 17 日（金）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：45 名

主な内容：支部総会開催の報告、2021 年度事業計画の見直し、支部執行委員の交代 他

3) 第 3 回

開 催 日：2021 年 12 月 28 日（火）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：48 名

主な内容：支部執行部改選に関わる申し合わせ事項一部見直し 他

4) 第 4 回

開 催 日：2022 年 3 月 7 日（月）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：45 名

主な内容：支部執行委員の選定、支部奨励賞の選考、事業計画および収支予算 他

(2) 支部幹部・顧問合同会議

開 催 日：2021 年 12 月 8 日（水）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：12 名

主な内容：支部執行部の改選に関わる申し合わせ事項の改正、総務委員会、広報事業委員会委員長交代 他

(3) 支部総会

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

※ 支部総会資料は支部ホームページに掲載

(4) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）支部総会後

場　　所：JCI 近畿支部事務局（オンライン（Zoom）による中継）

※ 奨励賞の受賞者 4 名に賞状と記念品を授与

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

日　　時：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：JCI 近畿支部事務局（オンライン（Zoom）による中継）

講演題目：「スタジアム建築におけるプレキャストコンクリート架構の施工実例について」

講 演 者：井上 崇 氏（㈱竹中工務店）

2) 親子対象体験教室「第 2 回コンクリートっておもしろい」（支部設立 25 周年記念事業）

大阪市立科学館にて開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（→下記のオンライン企画に変更）

3) 夏休みの自由研究お助け企画（オンライン企画）「コンクリートっておもしろい」の実施

動画配信と質問受付 7 月下旬～8 月 27 日（金）17:00

作品応募　～9 月 30 日（木）17:00

優秀作品の表彰　12 月上旬

(6) 見学会

1) 会員対象現場見学会

2021 年度に 25 周年記念事業として実施予定の「歴史的建造物の見学（土木構造物）」については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、2022 年度に先送りとする。

2) 市民（親子）対象現場見学会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(7) 研究専門委員会等

1) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019年度～2021年度の3年間（2021年度は延長期間、2022年度は報告会を

実施）

委 員 数：25名

幹 事 会：2021年 8月 3日 5名出席

2021年12月 2日 6名出席

2022年 3月30日 6名出席

委 員 会：2021年 9月16日 23名出席

2022年 1月24日 18名出席

WG活 動：

回	日　時	備　考
WG-A	2021年4月～2022年3月	・40mm骨材についてのアンケート調査 ・骨材試験の省力化手法の提案
WG-B	2021年4月～2022年3月	・コンクリートの試料採取時の廃棄量の減量に関する追加実験を実施。データ取りまとめ、解析中。 ・小型化エアメータの精度確認 ・コンクリートの試験に関する省力化の各工場での取り組みについて、近畿地区の生コン工場を対象にアンケートを実施
WG-C	2021年4月～2022年3月	・圧縮、曲げ試験用供試体の小型化の検討 ・試験用供試体の他の試験（静弾性係数、長さ変化、曲げ靭性）への適用性の検討 ・試験結果のまとめ
WG-D	2021年4月～2022年3月	・アンケート集計 ・工場設備の省力化の検討、情報収集 ・JIS制定の背景の調査

＊なお、各WGにおいて、報告書作成に向けて、原稿を執筆中である。

2) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する研究委員会（2018年度公募）

委 員 長：中川隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動期間：2019～2020年度の2年間、2021年度に成果報告会

委 員 数：27名

委 員 会：2022年2月2日および3月2日（対面・オンライン併用）

活動実績：2020年度に計画していた分離抵抗性評価のための追加実験、実大模擬部材による構造体での品質評価実験をコロナ禍の影響により中止し、これまでの取組みを2021年度に報告書として整理、同年度内（2022年3月18日）に成果報告会を実施した。

3) 百石斎（田邉朔郎書斎）調査委員会（支部設立30周年記念行事）

委員長　：岸本一蔵（近畿大学）

活動期間：2021年度～2023年度（3年間）

成果報告：2024年度（支部設立30周年になる年度）

委 員 数：17名（オブザーバー4名を含む）

委員会活動：コロナ禍のため上期は、ほとんど活動ができない状況であったが、下期に委員会や詳細調査等を実施し、ほぼ年度計画通りに活動を行うことができた。

①4 月 22 日（木）　田邉家と岸本委員長との間で確認書締結

②6 月 18 日（金）　京都市歴史資料館「田邉朔郎日記」調査

・百石斎の建設に関する記載から、大正 4 年 4 月に築造開始し 7 月 31 日に竣工したことが明らかとなった。

・京都大学図書館の「かはさき画報」（大正 4 年 9 月号）を調査した結果、百石斎が鉄網コンクリート建物の施工事例として紹介されていることが判明した。

③8 月 17 日（火）10:00～12:00　第 1 回百石斎調査委員会（Web）12 名出席
2021 年度活動計画、3D 測量およびプレ調査など

④8 月 27 日（金）13 時～17 時　百石斎の 3D 測量およびプレ調査の実施（8 名参加）

⑤10 月 6 日（水）11:00～12:30　㈲小林設計工務小林社長への再聞き取り調査、ファイバースコープ調査の実施（2 名参加）

⑥10 月 25 日（月）9 時 30 分～11 時　第 2 回百石斎調査委員会（Web）12 名出席
3D 測量結果、内装材撤去工事の進め方、詳細調査の進め方など

⑦11 月 17 日（水）9:30～10:10　京都府教育庁指導部文化財保護課および京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課への事前説明（2 名参加）

⑧12 月 1 日（水）　KTK 社ヒアリング、かはさき画報などの閲覧（1 名参加）

⑨12 月 8 日（水）13 時～15 時　　第 3 回百石斎調査委員会（Web）　9 名出席
詳細調査の進め方、2021 年度活動報告（案）、2022 年度活動計画（案）等

⑩12 月 15 日（水）9 時～11 時 30 分　百石斎内装材等撤去工事（7 名参加）

⑪12 月 22 日（水）9 時～14 時　百石斎詳細調査（10 名参加）
14 時 30 分～15 時　京都市および京都府の文化財保護課の 2 名が見学

⑫2 月 14 日（月）13 時～15 時 30 分　内装壁開口部復旧工事（立会者：1 名）

⑬2 月 16 日（水）完成届および請求書の受理

⑭2 月 18 日（金）㈲小林設計工務に工事費支払い

⑮2 月 24 日（木）第 4 回百石斎調査委員会（Web）10 名出席
詳細調査結果の概要、2021 年度活動報告（案）、2022 年度活動計画（案）等

活動成果：百石斎の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくことの検討を行い、得られた成果を広く社会に公表することを目的に3年間の委員会活動を開始した。

2021年度の主な成果を以下に示す。

①「田邉朔郎日記」や「かはさき画報」などの文献調査により以下の2点を明確にできた。

(ア)百石斎の建設年月日（これまでの通説よりも2年早い、1915（大正4）年7月31日竣工）を特定できたこと、

(イ)鉄筋コンクリート造ではなく、鉄網コンクリート壁であること

②また、鉄網コンクリート壁からコンクリートと鋼材（力骨および鉄網）の試料を採取し、2022年度に分析等を行うこととした。

③建物外観および内観の3D測量を実施し、建物一般図を作成した。

活動計画：2022年度以降、百石斎に係わる資料調査、建物を構成する材料調査や健全度評価、建物構造調査や耐震診断、歴史遺産としての利活用のあり方などについて、引き続き調査を行う予定である。

(8) 他学協会等との連携

1) 講習会「破壊力学の基礎と最新応用」（日本材料学会主催、当支部協賛）
開 催 日：2021 年 5 月 25 日（火）
場　　所：オンライン開催

2) セメント・コンクリート研究の最前線（コンクリート研究会主催、当支部後援）
開 催 日：2021 年 7 月 21 日（水）
場　　所：ハイブリッド開催

3) 第 35 回コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会（土木学会関西支部主催、当支部後援）
開 催 日：2021 年 10 月 5 日（火）
場　　所：ハイブリッド開催

4) 「但馬と土木」講演会（「但馬と土木」実行委員会主催、当支部後援）
開 催 日：2021 年 11 月 7 日（日）
場　　所：但馬地域地場産業振興センター

5) セメント・コンクリート関西発表会 2021（コンクリート研究会主催、当支部協賛）
開 催 日：2021 年 11 月 24 日（水）
場　　所：ハイブリッド開催

6) 第 18 回圧送技術研究会（日本建築学会近畿支部・近畿生コンクリート圧送協同組合共催、当支部後援）
開 催 日：2022 年 2 月 24 日（木）
場　　所：大阪工業大学 梅田キャンパス　ＯＩＴ梅田タワー３Ｆ　常翔ホール、ハイブリッド開催

(9) 収支決算

1) 貸借対照表

2022（令和 4）年 3 月 31 日現在

（単位：円）

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
資産		負債	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
1．現金		1．預り金	
2．普通預金	1,513,190	2．未払金	
3．当座預金			
4．定期預金			
5．未収金		資本	
6．本部預け金	6,100,000	Ⅰ 出資金	
		Ⅱ 剰余金	
		1．前期繰越損益	7,737,922
		2．当期損益	－124,732
計	7,613,190	計	7,613,190

2) 2021 年度 一般正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日				
	科　　目	当年度	前年度	増減
1.	収入の部			
（1）	事業収益			
1）	講演会等収益（見学会含む）	2,000	2,000	0
	事業収入計	2,000	2,000	0
（2）	その他収益			
2）	受取利息	44	79	-35
3）	懇親会参加費収益	0	0	0
5）	年次大会還元金	0	0	0
6）	本部よりの交付金	2,071,220	1,922,720	148,500
	その他収益計	2,071,264	1,922,799	148,465
	合　　計(A)	2,073,264	1,924,799	148,465
2.	支出の部			
（1）	事業費			
1）	調査研究事業費	712,742	1,035,618	-322,876
2）	広報事業費	311,489	127,670	183,819
3）	講演会等事業費（見学会含む）	112,617	85,370	27,247
4）	表彰事業費	89,805	49,731	40,074
5）	その他費用	0	0	0
	事業費計(a)	1,226,653	1,298,389	-71,736
（2）	管理費			
1）	総会費	76,120	53,075	23,045
2）	執行委員会費	9,812	14,140	-4,328
3）	事務委託費	660,000	660,000	0
4）	旅費交通費	0	0	0
5）	通信費	78,810	76,167	2,643
6）	消耗品費	4,173	1,705	2,468
7）	借室料	132,000	132,000	0
8）	手数料	10,428	9,790	638
9）	その他雑費	0	0	0
	管理費合計(b)	971,343	946,877	24,466
	経常費用合計(B=a+b)	2,197,996	2,245,266	-47,270
	当期正味財産増減額(C=A-B)	-124,732	-320,467	195,735
	正味財産期首残高(D)	7,737,922	8,058,389	-320,467
	正味財産期末残高(C+D)	7,613,190	7,737,922	-124,732

3) 監査報告書

令和 4 年 4 月 19 日

公益社団法人日本コンクリート工学会
会長　二羽　淳一郎　殿

内 部 監 査 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度における会計および業務の監査を行い、適切に執行されていることを認めます。

以上

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部
検 査 役　長岡 誠一

2.　2022 年度 事業計画および収支予算について

事　業　計　画

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不明確な状況であるが、感染、拡大防止を図りながら支部の活性化に向けて各委員会（総務、広報行事、調査研究）が積極的に活動を推進させるとともに、オンラインを活用した支部会員への取り組みを行うこととする。

(1) 執行委員会

年 4 回（5 月、7 月、12 月、2 月）実施予定

(2) 顧問・幹部合同会議

11 月実施予定

(3) 支部総会

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：対面及びオンラインのハイブリッド開催（Zoom 活用）

(4) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：対面及びオンラインのハイブリッド開催（Zoom 活用）

表彰人数：4 名

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：対面及びオンラインのハイブリッド開催（Zoom 活用）

講演題目：「うめきた（大阪）地下駅建設工事における温度ひび割れ抑制の取り組み」

講 演 者： 藤岡　慶祐 氏（西日本旅客鉄道㈱ 建設工事部）

2) 夏休みの自由研究お助け企画（オンライン企画）「コンクリートっておもしろい」

開 催 日：2022 年 7－9 月（予定）

場　　所：オンライン開催（支部 HP 上に掲載）

内　　容：検討中

3) オンライン企画「コンクリートと私」座談会

開 催 日：2022 年 11 月（予定）

場　　所：オンライン開催

内　　容：検討中

4）会員対象見学会「歴史的建造物の見学（支部設立 25 周年記念行事)」

開 催 日：2022 年秋（予定）

場　　所：検討中

内　　容：検討中

(6) 研究専門委員会等

1）コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019年度～2021年度の3年間（2021年度は延長期間）

委 員 数：25名

成果報告会：2022年度に実施（対面もしくはオンラインにて開催）（予定）

2）百石斎調査委員会（支部設立30周年記念行事）

委 員 長：岸本一蔵（近畿大学）

活動期間：2021年度～2023年度の3年間

委 員 数：15名程度

活動計画：百石斎（田邉朔郎書斎）の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくための検討を行い、得られた成果を支部設立30周年記念行事として広く社会に報告する。そのため、百石斎に関わる資料調査、建物を構成する材料調査や健全度評価、建築構造調査や耐震診断、歴史遺産としての利活用のあり方などについて調査を行う。

(7) 表彰事業

公募により支部奨励賞を 3 件程度選考のうえ、表彰事業を実施する。

(8) 収支予算

令和4年4月1日から令和5年3月31日				
	科　　目	当年度	前年度	増減
1.	収入の部			
（1）	事業収益			
1）	講演会等収益（見学会含む）	0	0	0
2）	業務援助報酬（技士・主任技士）	0	0	
3）	業務援助報酬（診断士）	0	0	
	事業収入計	0	0	0
（2）	その他収益			
1）	受入送料	0	0	0
2）	受取利息	0	0	0
3）	懇親会参加費収益	180,000	0	180,000
4）	雑収益	0	0	
5）	年次大会還元金	0	0	
6）	本部よりの交付金	1,911,220	2,076,000	-164,780
	その他収益計	2,091,220	2,076,000	15,220
	合　　計(A)	2,091,220	2,076,000	15,220
2.	支出の部			
（1）	事業費			
1）	調査研究事業費	450,000	950,000	-500,000
2）	広報事業費	390,000	410,000	-20,000
3）	講演会等事業費（見学会含む）	200,000	200,000	0
4）	表彰事業費	60,000	60,000	0
5）	その他費用	0	0	0
	事業費計(a)	1,100,000	1,620,000	-520,000
（2）	管理費			
1）	総会費	500,000	150,000	350,000
2）	執行委員会費	70,000	70,000	0
3）	事務委託費	660,000	660,000	0
4）	旅費交通費	15,000	15,000	0
5）	通信費	80,000	80,000	0
6）	消耗品費	120,000	20,000	100,000
7）	印刷費	0	0	0
8）	水道光熱費	0	0	0
9）	借室料	132,000	132,000	0
10）	手数料	15,000	15,000	0
11）	その他雑費	0	0	0
	管理費合計(b)	1,592,000	1,142,000	450,000
	経常費用合計(B=a+b)	2,692,000	2,762,000	-70,000
	当期正味財産増減額(C=A-B)	-600,780	-686,000	85,220
	正味財産期首残高(D)	7,613,190	7,737,922	-124,732
	正味財産期末残高(C+D)	7,012,410	7,051,922	-39,512

3.　支部執行部の体制について

支部執行部 51 名のうち任期満了（2022 年 5 月末）に伴う改選の対象者 25 名（支部幹事 5 名、支部執行委員 20 名）の他、任期途中で交代する支部執行委員 1 名の合わせて 26 名が改選の対象になっている。

これらの改選対象者については支部幹部・顧問合同会議での議論を踏まえて支部執行部候補者推薦委員会で候補者を選定し、支部長に答申を行ったうえで支部執行委員会に諮り、次ページに示す体制とした。

支部幹事および支部執行委員

① 任期満了の支部幹事 5 名のうち 4 名を再任とし、1 名は交代とした。なお、交代者の後任は支部執行委員とした。

② 任期満了の支部執行委員 20 名のうち 17 名は再任とし、3 名は交代とした。また、任期途中の支部執行委員 1 名が交代となった。

③ 支部幹事 2 名が支部執行委員に、支部執行委員 2 名が支部幹事となる役職替えを行った。

(参考)

顧問の退任はなく、顧問 3 名のままとした。

<2022 年度 支部執行部体制＞※入れ替え

役職	氏名	所属	改選後の任期		改選内容		後任者		
			2022.5	2023.5	再任	交代	氏名	所属	備考
支部長	井　上　　晋	大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科		○					
副支部長	村　田　一　郎	西日本旅客鉄道㈱		○					
支部幹事	岩　清　水　隆	㈱竹中工務店		○					
	大　谷　恭　弘	神戸大学大学院	○		○				執行委員
	鎌　田　敏　郎	大阪大学大学院		○					執行委員
	岸　本　一　蔵	近畿大学	○		○				
	辻　　村　　隆	㈱バウエンジニアリング	○		○				
	鶴　田　浩　章	関西大学		○					
	中　村　士　郎	住友大阪セメント㈱		○					
	松　本　　茂	阪神高速技術㈱	○			○	新名　勉	阪神高速道路株式会社 建設事業本部	執行委員
	山　本　貴　士	京都大学大学院	○		○				
支部執行委員	市　岡　有　香　子	(一財)日本建築総合試験所	○		○				
	伊　藤　尚　子	大和ハウス工業㈱		○					
	今　村　り　え	中央復建コンサルタンツ㈱	○			○	福原　凪咲	中央復建コンサルタンツ(株) 構造系部門	執行委員
	上　田　　清	和歌山県生コンクリート工業組合		○					
	大　城　壮　司	西日本高速道路㈱ 技術本部 技術環境部 構造技術課		○					
	大　西　俊　輔	大阪ガス㈱ ガス製造・エンジニアリング部 土木技術チーム	○		○				
	大　前　　博	大成建設㈱		○		○	真柴　浩	大成建設(株)土木部 技術部 技術室	執行委員
	川　崎　佑　磨	立命館大学		○					
	川　瀬　哲　夫	太平洋セメント		○					
	木　村　方　哉	㈱大林組	○		○				
	熊　野　知　司	摂南大学	○		○				
	栗　延　正　成	大阪広域生コンクリート協同組合		○					
	佐　伯　奈　都　美	ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱	○			○	木戸　弘大	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) 土木設計本部	執行委員
	坂　田　博　史	㈱建研	○		○				
	桜　田　道　博	宇部三菱セメント㈱ 大阪支店 技術グループ		○					
	真　田　靖　士	大阪大学大学院	○		○				
	下　部　裕　司	㈱奥村組 西日本支社	○			○	藤井　伸介	㈱奥村組 西日本支社	執行委員
	城　井　優　希	㈱ダイイチ		○					
	高　田　良　章	㈱フローリック		○					
	高　森　太　郎	清水建設㈱	○		○				
	高　谷　　哲	京都大学大学院	○		○				
	武　田　宇　浦	明石工業高等専門学校	○		○				支部幹事
	田　邉　太　一	大手前大学		○					
	谷　　昌　典	京都大学大学院		○					支部幹事
	友　成　弘　樹	㈱IHIインフラ建設	○		○				
	仲　谷　恵　美	和泉生コンクリート㈱	○		○				
	抜　木　幸　次	㈱中研コンサルタント 大阪技術センター	○		○				支部幹事
	橋　野　哲　郎	㈱ピーエス三菱		○					
	橋　本　崇　志	東洋建設㈱		○					
	福　島　和　将	ポゾリスソリューションズ㈱		○					
	福　本　育　央	鹿島建設	○		○				
	藤　原　規　雄	㈱国際建設技術研究所		○					
	麓　　隆　行	近畿大学 理工学部		○					
	前　田　　朗	大阪兵庫生コンクリート工業組合		○					
	三　方　康　裕	大阪工業大学	○		○				
	三　木　朋　広	神戸大学大学院	○		○				
	水　野　克　彦	三井住友建設㈱	○		○				
	山　田　　藍	㈱竹中工務店		○					
	山　田　　宏	大阪産業大学	○		○				
	吉　田　育　央	㈱シーエスインスペクタ		○					
合　計			25	26	21	4			

4.　2021 年度表彰について

総務委員会において「近畿支部奨励賞」の応募スケジュール等を検討のうえ、コンクリート工学会誌に会告を掲載して募集を行い、2021 年 12 月 20 日（月）に締め切ったところ過去最多タイの 8 件の応募があった。その後、調査研究委員会において表彰内規および表彰細則に則り、応募資格および審査基準（独創性、萌芽性および将来性）に対する審議を行った。さらに、受賞候補の選考経過ならびに選定理由が支部執行委員会に報告され、4 件の応募者を受賞者とすることが決定した。

受賞者は以下の 4 名である（応募受付順）。

・ 木野瀬　透（一般財団法人　日本建築総合試験所）
「高温加熱したセメントペーストの水分浸透に関する基礎的検討」
コンクリート工学年次論文集、Vol.43、No.1、pp.1187-1192、2021

・ 尹　ロク現（大阪大学大学院）
「RC 方立壁の気密性能に着目した住機能維持限界に関する基礎研究」
コンクリート工学年次論文集、Vol.42、No.2、pp.727-732、2020

・ 福山　智子（立命館大学）
「セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討」
コンクリート工学年次論文集、Vol.42、No.1、pp.1876-1881、2020

・ 山田　宏（大阪産業大学）
「テクニカルレポート：コンクリートの乾燥収縮率と粗骨材の品質の関係」
コンクリート工学　Vol.58、No.3、pp.223-228、2020

5.　支部会員数の推移について

年　度	個人会員			団体会員						備　考
	正	学生	合計	第Ⅰ種	第2種				合計	
					1級	2級	3級	4級		
2001(H13)			996						41	近畿支部の記録
2002(H14)			994						51	
2003(H15)			992						36	
2004(H16)										
2005(H17)										
2006(H18)										
2007(H19)										
2008(H20)										
2009(H21)										
2010(H22)			895						36	
2011(H23)	789	22	811	5	0	0	4	27	36	本部照会
2012(H24)	739	38	777	5	0	0	3	30	38	
2013(H25)	710	35	745	5	0	0	3	32	40	
2014(H26)	686	51	737	4	0	0	3	35	42	
2015(H27)	676	47	723	4	0	0	3	36	43	
2016(H28)	711	26	737	5	0	0	3	36	44	
2017(H29)	723	38	761	5	0	0	3	36	44	
2018(H30)	701	51	752	4	0	0	3	39	46	
2019(R1)	724	22	746	4	0	0	3	38	45	
2020(R2)	712	14	726	4	0	0	3	37	44	
2021(R3)	699	17	716	4	0	0	3	39	46	

※2011（H23）年度から 2021（R3）年度は、各年度末現在の会員数を示す

6. 本部からの報告について

令和 3(2021)年 6 月以降、令和 4(2022)年 2 月末までの 7 回の定例理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、全て Zoom によるオンライン会議にて開催された。

本部理事会における決議および報告の内容詳細については、理事会における守秘義務順守に配慮し、議事項目のみを中心に以下に列記した。

(1) 6 月臨時理事会（令和 3 年 6 月 16 日（水））

・ 令和 3 年度役付員理事（副会長 3 名、専務理事 3 名）の選定、有事の際の職務遂行順序、理事の職務分担について決議した。

(2) 7 月定例理事会（令和 3 年 7 月 16 日（金））

・本部ホームページのリニューアル、令和 3 年度会計監査報酬、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

・ 令和 3 年 4 月～令和 3 年 5 月会計報告、業務執行理事等の職務執行内容報告、コンクリート技士・主任技士研修受講申込者数（技士 9,558 名、主任技士 2,296 名）、の各項目について報告があった。

(3) 8 月定例理事会（令和 3 年 8 月 27 日（金））

・ 令和 3 年 4 月～7 月会計報告、業務執行理事等の職務執行報告、支部執行委員の異動（四国支部）、出納管理者の代行（中国支部）、理事と本学会間の取引、研究委員会新規テーマの公募、コンクリート診断士試験会場・受験申込者数（9 会場で 4,944 名）、新型コロナ感染報告、の各項目について報告がなされた。

・防災学術連携体連携委員の交代、震災 10 年シンポジウムの本部支援（東北支部）、出版物の頒価、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(4) 10 月定例理事会（令和 3 年 10 月 26 日（火））

・令和 3 年 4 月～9 月会計報告、業務執行理事等の職務執行報告、名誉会員の推薦依頼、支部執行委員の異動（四国支部）、コンクリート技士・主任技士研修会受講者数（技士 9,264 名：96.9%、主任技士 2,255 名：98.2%）、の各項目について報告があった。

・令和 4 年度（2022 年度）割付予算案、令和 4 年度（2022 年度）役員改選、日本規格協会公募事業への申請（再生骨材関連）、標準化委員会（委員会設置：再生骨材関連）、規程類の改正・制定、激甚災害による会費の減免、出版物の頒価（3D プリンティング・マスコンひび割れ制御指針）、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(5) 11 月臨時理事会（令和 3 年 11 月 29 日（月））

・2021 年度コンクリート診断士合格者、二酸化炭素排出量及び吸収・固定・利用量に関

する請負契約（2 件）、カーボンリサイクル評価方法の JIS 化受託申請、「マスコンクリートソフト普及委員会」新規 WG の設置及び委員追加、規程類の改正、会誌会告、委員会・委員の異動、の各項目について決議した。

(6) 12 月定例理事会（令和 3 年 12 月 24 日（金））

・令和 3 年 4 月～令和 3 年 11 月会計報告、業務執行理事等の職務執行報告、支部執行委員の異動（近畿支部）、年次大会 2021（名古屋）収支報告、コンクリート技術講習会受講申込者数（568 名：前年比 11%減）、コンクリート診断士研修会受講者数（3031 名）、コンクリート技士・主任技士試験受験者数（技士 9037 名、主任技士 3018 名）、2022 年度コンクリート診断士講習会および試験案内、内閣府立入検査、の各項目について報告された。

・2021 年度コンクリート技士・主任技士試験合格者、コンクリート技士資格不正取得者に対する対応、名誉会員・終身会員及びフェロー会員、助成金制度採択者、技術委員会（延長・設置申請：コンクリート基本技術調査委員会）、普及委員会（設置申請：コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針改訂原案作成委員会）、コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針 2022 の改訂原案、出版物頒価、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(7) 2 月定例理事会（令和 4 年 2 月 25 日（金））

・令和 3 年 4 月～令和 4 年 1 月会計報告、業務執行理事等の職務執行報告、激甚災害の会費減免申請者（申請無し）、理事と本学会間の取引、の各項目について報告があった。

・2022・2023 年度役員候補者、研究委員会（研究専門委員会新規課題 4 件）、ACT 編集業務委託 2022 年度契約、学会賞受賞候補、コンクリート工学年次大会（千葉）実行計画、規程の改正、ホームページリニューアルデザイン案、ホームページリニューアル積立預金の設定、会員管理システムの更新・資産取得資金積立預金の設定、コンクリート診断士研修での e ラーニング運営・管理に対する業務委託、出版物頒価、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(8) 3 月定例理事会（令和 4 年 3 月 28 日（月））

・令和 3 年 4 月～令和 4 年 2 月会計報告、業務執行理事等職務執行報告、支部執行委員の異動、資格試験登録者の推移の各項目について報告があった。

・令和 4 年度事業計画および収支予算、支部執行部体制の変更、ホームページリニューアル積立預金の設定変更、登録商標の更新、規程類の改正および制定、2021 年 JCI 年次大会（名古屋）の還元金使用計画、棚卸資産（出版物）の除却、出版物の頒価、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。